

身近な草木花 2017年1月



元日の東法面



サツキ・紅葉と花

寒さが厳しいほど鮮やかな色になります



マンリョウ

法面にはマンリョウがいっぱい実をつけています

植物の冬越しのすがた・ロゼット

俳句の冬の季語には、「枯野」「冬枯れ」「枯葉」「枯れ草」など「枯れ」のつく季語が多い。“草の枯れ果ててひっそりとした冬の野。日、雨、風が寂々とわたり、荒涼とした景”、そんなイメージです。

しかし、枯れ草をかき分け地面を見れば、そこに瑞々しい緑の草が生えていて驚くことがあります。あるいは広場や路傍に紫褐色に変色し、地面にぴったり張り付いて葉を伸ばしている草があります。枯れているわけではありません。それが、まもなく訪れるであろう春を待ち、じっと寒さに耐えている草の姿なのです。風景は枯れていても、“命”は決して枯れていないのです。

今回は“地面にぴったり張り付いて葉を伸ばしている草”、つまり“ロゼット”から見ていきます。



オニタビラコ（キク科）（2014 4/8）



セイヨウタンポポ（キク科）（2015 4/2）



ハルジオン（キク科）（2014 4/24）

ロゼットという言葉は、元来はバラの花から由来する言葉です。茎を立ち上げず、葉は地際から直接出す根性葉(こんせいよう)の形をとって、バラの花のような形に放射状に広がっている植物のことです。



シロツメグサ (マメ科) (2015 5/14)



ジュウニヒトエ (シソ科) (2015 4/29)



ユキノシタ (ユキノシタ科) (2015 5/30)

このような形を取るのには、前年の終りに発芽し、冬を越してから春に成長する越年草(二年草、宿根草)に多く見られます。冬の間は寒さに耐えられるように地表に張り付き、しかも太陽の日差しを受けられるように広く葉を広げています。そして、春になるとその中央から茎が伸びて、背が高くなり、花をつけるのです。



ゲンノショウコ (フウロソウ科) (2015 9/22)



ヒメオドリコソウ (シソ科) (2014 4/8)

地表面に張り付いているタイプのものだけでなく、このようにやや立ち上がっているものもロゼットの仲間に含めているようです。

今回ロゼットをいろいろ取材し、少し詳しく取り上げたいと思いましたが、私自身の不勉強でなかなか判別できず、簡単な紹介にとどめます。

植物名の右側の (年 月/日) は花の写真を撮った日付です。

ロゼットは全て今年の1月上旬の撮影です。

“春一番”見つけた

植物の生命力の強さ

2013年の半ばからホームページで植物の紹介を始めていますが、2014年の元日の朝、東法面を見て回って驚いたことがあります。なんとそこにカタバミの花が咲いていたのです。それまでは“冬”と言えば“あたり一面、草の枯れ果てている季節”と思いきや、花に出会えるとは思っていませんでした。

あたりを見回せば、そこは空地になって東からの日差しが差している。北側は林に遮られ風よけになっている。つまりその場は期せずして陽だまりになっていました。珍しいことがあるものだと、ひとり合点したものです。



カタバミの花 2014年1月1日撮影
寒いので葉を閉じている

それから毎月団地の周りを見て回りましたが、年間通じて出会うのはカタバミの花です。図鑑には、カタバミの花期は“5~7月”となっています。もちろん盛んに咲くのはその時期でしょうが、春先のまだ寒い時期にも、晩秋の枯葉の季節にも、別段狂い咲きしているようでもなく、自然に咲いているように見えます。夕方や、曇りや、寒い季節には花も葉も閉じてしまうのに、暖かい日差しがあれば季節を問わずに咲き出すようなのです。強い花です。年頭に“生命力が強い花の代表”として紹介できるのは、このカタバミをおいて他にないでしょう。

さて、インターネットで「季節外れの花」で検索してみると、“冬でも暖かい日が続くと、草木が時ならぬ花を咲かせることがある”として、その花を「帰り花」「忘れ花」、あるいは「狂ひ花」呼ばれていることが記されています。

しかし、ちょっと待ってください。“季節”を当てはめているのは人間の方です。草花は暖かい日差しに春を感じ取っているのです。寒い冬なのに花を咲かせているのです。「狂い咲き」というより「生命力の強さ」とも言えるでしょう。

それで、この団地周辺や居住区も含めて、どんな花が見られるのか、この正月の数日間見て回りました。いろんな花が咲きだしていました。その中で、オオイヌノフグリ、オランダミミナグサまで咲きだしているのに出会うと、これはもう“季節外れの花”ではなく、“季節の先取り”ではないかと思に至りました。

温暖化のせいなのか、暖冬のせいなのかは分かりません。そのいずれでもあるのでしょうか。草花は暖かい日差しに春を感じてしまったのです。“まず初めに、春を先取りして”しまったのです。

以下に、この正月に出会った草花をご紹介します。

「春一番」とは気象用語で“立春から春分間に、その年に始めて吹く南寄りの強い風”のことですが、ここでは“まず初めに、春を先取りして咲きだした花”の意味をあえて持たせています。

3号棟南側

ここが一番日当たりのよい場所でさまざまな野草の花が咲きだしているのが見られます。3年前、東法面でカタバミの花を見つけた時、この場所も見っておけばよかったと後悔しています。



(左) カタバミ (カタバミ科) 花期 5~7月 日当たりが良い分、こちらの方が生き生きと咲いている。

(右) ジシバリ (キク科) 花期 4~6月 この季節にジシバリを見たのは初めて。(1月1日撮影)



(上左) タネツケバナ (アブラナ科) 花期 4~6月 側溝の中に生えていた。(1月1日撮影)

(但し、その後溝掃除をしたため今は見られません)

(上右) トキワハゼ (ゴマノハグサ科) 花期 4~11月
(1月4日)

いずれもよく見ないと、見落としてしまいそうなほど小さい花。

(右) ハハコグサ (キク科) 花期 4~6月
(1月1日)



団地南側入り口のサツキの根元

ムラサキカタバミ(カタバミ科) 花期5~7月



この花は、当団地入口のサツキの根元に咲いていた。これまでムラサキカタバミの群生を見たのは皇居内だけで、団地内では所々に一本ずつ楚々として咲いているのを見かけただけ。花期でもなく、初めは見間違いかと思った。(1月2日撮影)

中央広場、居住区

中央広場でも花壇付近は5号棟の陰になっているが、7号棟寄りには日当たりが良いので、さまざまな野草が見られる。



(上左) オオイヌノフグリ(ゴマノハグサ科)

花期3~5月

(上右) オランダミミナグサ(ナデシコ科)

花期4~5月

(ともに中央広場で1月3日撮影)

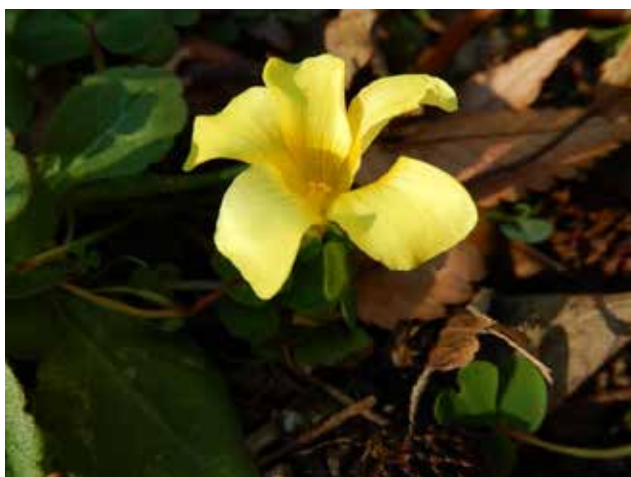


(右) ノゲシ(キク科)花期4~7月

(2号棟西側 1月2日撮影)



東法面



オオキバナカタバミ

(オキザリス・ペスカプラエ；カタバミ科)

花期 4～9月

南アフリカ原産。栽培種として HP に紹介されている。また別の HP 情報では、花壇から飛び出し野生化し、関東以西に広がっているとの事。但し、『多摩市の植物目録』には載っていない。昨年 12 月に、バス停裏付近の法面に咲いているのを見つけた。(1月1日撮影)



タカサゴユリ(ユリ科)花期 7～9月

東法面と北駐車場と進入路の間に咲いていた。

台湾原産。園芸用に移入後、野生化。風媒花で種子を大量に散布し、東北南部以西に繁殖域を広げている。花の多くは純白だが、写真のように赤紫色の筋が入るものもある。(1月2日撮影)



(上左右) オニタビラコ(キク科)花期 5～10月

道ばたや公園、庭のすみなどによく生える野草。花期は 5～10 月だが、南の地方では一年中咲いているとの事。だから、当地でも今の時期に咲きだしたのではなく、暖冬で、秋からずっと咲いているのだろう。根生葉がロゼット状に広がっている。(1月4日撮影)

カタバミ (カタバミ科) 花期 5~7月

今回も東法面のいつもの空地で探したが、その時は見つからなかった。

1月4日に、少し日陰になったところに見つけた。3号棟南側ではよく開いていたのに、半日陰のためか花も葉も半分閉じぎみだった。

(1月4日撮影)



ハナカタバミ (オキザリス・ポーウィー)

(カタバミ科) 花期 10~11月

当団地南東、緑化ブロックの下 (1月8日撮影)

南アメリカ原産、江戸時代に観賞用に導入された。四国・九州など暖地で野生化。当地のものは、緑化ブロック工事の際にツツジの苗の土とともにもたらされたもの。

『多摩市の植物目録』に野生化の報告なし。

この花は、秋には緑化ブロックの下や側溝のあたりまで、一面花で埋めるほどに咲いているが、冬には花を見たことが無い。1日から4日に見て回った時には咲いていなかったが、8日の曇りの日に見て回った時には写真のようだった。前日の暖かい日に咲きだしたのかもしれない。

10号棟脇の陸橋の上

ホトケノザ (シソ科) 花期 3~6月

10号棟脇の陸橋で見かけた。赤い蕾を覗かせていた。

(1月11日撮影)

このようにさまざまな野草の花が見られました。寒い日には花を閉じてしまう種類が多いので、日差しがあり、暖かい日に、皆様も“春の兆し”を探してみてください。



【 参考書 】

『野草のロゼットハンドブック』 亀田龍吉著 文一総合出版

『花と葉で見わかる野草』 亀田龍吉・有沢重雄著 小学館

『山溪ハンディ図鑑 1 野に咲く花』 山と溪谷社

『多摩市の植物目録』 パルテノン多摩

〔写真・文 石川〕